

開講科目名 Course	租税法研究演習 1 年（金森先生） / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18016
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 2
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	金森 文質
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	4 4 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	金森 文質（法学研究科修士課程）
授業の目標	修士論文を書き上げることができる力をつけること。
授業の概要	<p>本演習では、テキスト等から、参加者に自己の専門テーマを選択してもらう。</p> <p>1回の演習につき、1名の参加者が自己のテーマについて報告を行い、これに対して他の参加者による質疑と全員による討議を行う。このことにより、租税法についての研究を深めていく。</p> <p>演習の中で、修士論文のテーマの選択と論文作成についての指導を行う。</p>
評価方法	演習への出席率、参加姿勢、貢献度等を総合的に勘案して評価する。
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	特になし
授業計画	毎回のゼミにおいて、一つないし複数の論点について検討をしていく。
テキスト	中里実他 『租税判例百選（別冊ジュリスト）[第7版]』（有斐閣・2016年）
参考書	
アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授 業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授 業の内容	
質問への対応方法	ゼミの中で、口頭にて回答する。
フィードバックの方法	ゼミの中で、口頭にて伝える。
予習・復習等、準備学習の内容及 び時間	次回のゼミにおいて扱う論点について、週3時間以上かけて検討をしておくこと。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	